

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-11-10
事務事業名	道路・橋梁新設関連事業（日生架橋）		根拠法令・要綱等 道路法
事業開始年度	平成17年度		問合せ先 担当課（室） 架橋対策室 職・氏名 室長補佐 淵本安志 電話 0869-64-1877
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目 基本施策	道路	
	小項目 施策	架橋の整備促進	

事業の実施	
対象（誰・何に対して）	市民・観光客他
目的（何のために）	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る
行政活動（どのような方法で）	市道日生頭島線の整備
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化、観光資源の活用、交流人口の増による地域振興を図る

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	道路工事		箇所	0	0	1
	用地購入		箇所	0	0	1
	調査		箇所	1	1	1
	事業費	直接事業費	千円	18,934	28,000	64,665
		人件費		2,320	4,220	5,133
		事業費計		21,254	32,220	69,798
	財源	国県支出金	千円	9350	15400	36190
		受益者負担		0	0	0
		市一般財源		6,624	4,920	5,508
必要人員		人	0.27	0.45	0.70	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	人	1	1	1	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	2,320	4,220	1,692	
	単位当たりコスト	円	2,320	4,220	1,692	
結果指標	道路工事		説明			
	結果指標量	人	-	-	1	
	対前年比	%	-	-	-	
	活動コスト	円	-	-	418	
	単位当たりコスト	円	-	-	418	

事業の成果			
成果指標名	事業進捗率	式又は説明	実施事業費計/計画総事業費
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	3.00	9.00	22.00
対前年比		300.00%	244.44%
到達目標値	100	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的・意図する成果の見直しが必要はない。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である（法律・政省令）	妥当性評価<A-E>	B
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	対象を見直す必要がある	国庫補助事業・地方道路交付金事業。安全で快適に暮らせるまちづくり。離島地域の隔絶性の解消、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化など地域振興が期待できる。	
	事業の意図する成果	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	
行政活動	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	効率的性評価<A-E>	
	市民ニーズ	C	
市の関与	本市が関与しなければならない事業である	課題認識	
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	道路工事に着手したことにより事業費が増となっているが、国庫補助金、合併特別債が充当できることから一般財源は大きく増とはなっていない。	
コスト	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	有効性評価<A-E>	
	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	B	
効率性の評価	サービスを低下させずにコストを低減することは困難	課題認識	
	受益者負担額を見直す余地がある	事業費が増となっているが、国庫補助金、合併特別債が充当できることから一般財源は大きく増とはなっていない。	
職	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	有効性評価<A-E>	
	最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	B	
目的達成度	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識	
	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	事業の意図する成果	
有効性の評価	事業に関するOJT（職場研修）は行われている	事業の意図する成果	
	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	事業の意図する成果	
成果向上の可能性	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	事業の意図する成果	
	成果は向上しており今後も向上する見込みである	事業の意図する成果	
市民参画度	今後、成果指標は向上する余地がある	事業の意図する成果	
	事業について積極的に情報提供している	事業の意図する成果	
市民参画度	事業実施等で積極的に市民意見を反映している	事業の意図する成果	
	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	事業の意図する成果	
市民参画度	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	事業の意図する成果	
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	事業の意図する成果	

平成20年度の状況		説明	19年度からの繰越、20年度事業を完了させ、事業推進を図る
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	結果指標量	100.00

総合評価		評価区分<A-E>	B
事業費の縮減を図りつつ、事業を推進する			

平成21年度以降の方向性		平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果